

単元	氏名	年組番
一年 いにしえの心にふれる		
		8問

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は昔、①竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、②よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむ③いひける。
その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。④あやしがりて、寄りて見るに、⑤筒の中光りたり。⑥それを見れば、三寸ばかりなる人、いと⑦うつくしうて⑧みたり。

現代語訳

今ではもう昔のことだが、竹取の翁とよばれる人がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろな物を作るのに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。(ある日のこと)その竹林の中に、根元の光る竹が一本あった。不思議に思って、近寄って見ると、筒の中[B]光っている。それを見ると、(背丈)三寸ほどの人が、まことにかわいらしい様子で座っていた。

① ② よろづ ③ いひける を現代仮名遣いに直しなさい。
答 (よろず) (いひける)

② ④ あやし ⑦ うつくし の意味を、現代語訳の中から探して書きなさい。

答 ④ (不思議に思っ) ⑦ (かわいらしい)
⑤ 筒の中 のあとに省略されている、現代語訳の[B]に入る語を、ひらがな一文字で書きなさい。

答 (が)
④ ①竹取の翁 の名前を、古文中から書き抜きなさい。

答 (さぬきのみやつこ)
⑤ ⑥それ は何を指しているか。古文中から三文字で書き抜きなさい。

答 (筒の中)
⑥ ⑧みたり の主語は誰か。古文中から八文字で書き抜きなさい。

答 (三寸ばかりなる人)